はまぎく

第110号
発　行

〒970－8003
いわき市平下平窪字熊ヶ平６番地
ＴＥＬ（0246）２３－５３１１
ＦＡＸ（0246）２３－５３１２
はまぎく荘新聞編集委員会
HP http://hamagiku.i-fukuin.com
E-mail:kuma-house@mx5.et.tiki.ne.jp

●紙面紹介●

１面　共生共感
　　利用者さんに聞いてみました
２面　今年度事業計画／行事計画
３面　教室発表会
　　ハンドベル発表会
　　遠足／花見
　　障がい者体育大会
４面　新職員紹介／異動職員紹介
　　保護者研修会
　　防犯対策強化事業費 補助金
　　みはま福祉祭り告知
　　くまハウス新聞告知
　　異動退職／編集後記

共生共感

所長　**植原明美**

当施設の玄関前には、いつも変わることなく「共生共感」の石碑が黒松の下に建っております。ふっと石碑の後ろに回ってみました。

「黒松五本・昭和五十七年四月建立」と刻まれており、はまぎく荘三周年の記念に建立されたようです。それからはまぎく荘の心の顔となり、長きにわたって利用者さん・職員を見守ってきました。

「共に生きる・共に感じる」なんてなんと素敵な言葉でしょうか。私たち職員は利用者さんと、共に時間を過ごしています。もしかしたら家族より長く過ごしているかもしれません。それなのにその気持ちを感じてとっているのかと時折我に返ります。現在はまぎく荘には二十代から八十代の方が生活をしています。幅広い支援の必要性が求められ、その中で重度化・高齢化も進んでおり、職員は色々な業務に追われています。でもそんな時だからこそ目の前にいる利用者さんとしっかり向き合っているのかと振り返ること。利用者さんの信頼を得てるのか、頼られる職員であるのか、おごることのない職員であることが大事であると感じます。一緒にご飯を食べたり、お風呂に入ったり、テレビを観たり、毎日のたわいもない出来事に喜んだり、悲しんだりする職員でありたいと思います。

大きく施設は変化していきました。私が採用された年は措置の時代でした。今は、措置から契約、訪問系サービス、日中活動系サービス、居住系サービス等と利用される方が選ぶサービスが沢山作り出されました。その中で、選ばれる事業所でありたいと思いますが、在宅の方の短期入所サービスには、百パーセント応えられていない現状もあります。ハード、人員面など理由は様々ですが、この点に関しては職員みんなで取り組んでいきたいと思います。平成三十年、職員みんなで共に寄り添う心、共に生きて、共に感じる支援をしていきますので、よろしくお願い致します。

利用者さんに今年の抱負を聞いてみたコーナー

今回は、代表二名の方です。

「山崎秀男さん」

●外出が好きで、似顔絵を良く描いてくれる方です。

○今年一年間の抱負は？
・教室関係を頑張りたい。
・たくさん出掛けたい。

○趣味である絵描きについて、今年取り組みたいことは？
・似顔絵を描くよ。

○旅行でやりたいことは？
・買い物ができたらいいな。

「立野淳子さん」

●面倒見が良く、行事を楽しむ方です。

○今年一年間の抱負は？
・太鼓。祭りでやりたい。
・ディスクでメダル取る。
・園芸で草むしりをしてハウスをきれいにしたい。

○楽しみにしている行事は？
・クリスマス忘年会。

○クリスマス忘年会でどんなことがしたいですか
・プレゼント交換したい。

今年度事業計画

所長　植原　明美

平成三十年も、利用者本位の考えに立って、共生共感を福祉の基本として支援をしていきます。

●**支援**
高齢化・重度化の中、安心で安全な生活が送れて、又、利用者さんの意思決定支援に向けた取り組みをします。

●**地域との関係**
ボランティア、福祉祭りを通して、交流を図ります。教育実習生も積極的に受け入れます。

●**防災**
毎月の避難訓練で火災・地震・土砂災害等を想定して行います。

●**行事**
季節の行事、グループ旅行、保育園、幼稚園との交流、父兄の面会日と行事を通して利用者さん、保護者、ボランティアとの交流を深めます。

●**研修**
職員の資質の向上を図り、人材育成に努めます。心肺蘇生法、ＡＥＤ取扱い研修を重視します。

●**施設整備**
・ＬＥＤへの交換工事
・受変電設備改修工事
・駐車場新設工事
・庇工事、サッシ交換工事
利用者さんの生活の場として安全、安心と快適な生活を提供するための整備を行っていきます。

●**職員構成**
常勤二十名、非常勤六名で、新採用職員三名が入職しました。

支援

男子棟

利用者の皆さんの明るい表情、それを引き出す職員の表情も自ずと明るく。

業務の忙しさにかまけて、初心をつい忘れがちでした。〝一日一度は利用者の笑顔を引き出す〟これが私の密かな楽しみであり、目標でした。個性豊かで、彩りある男子棟をぜひ見に来てください。怪我のないのが何よりですが、柔軟な発想と前向きな支援を目指します。

女子棟

「はまぎく荘」って、楽しいかな?おもしろいかな?どんなことをしたら楽しいのかな?と思うことがたくさんあります。女子棟の利用者さんはいつも笑顔を絶やさずにいてくれていますが、もっともっと楽しめるように、「はまぎく荘にきて良かった」と思ってもらえるように、職員の思いを一つにして支援していきたいと思います。

医務

利用者さんの高齢化に伴い、身体を動かす事が、少なくなっています。運動の声掛けをしても「動きたくない。」と返ってきます。車椅子を使用する方も年々増加傾向です。長い時間車椅子で生活していると、循環不全を起こし、血流が悪くなり、浮腫みなども見られます。また、運動不足により、便秘や食欲不振、認知症などにも繋がって行きます。そうならない為にも、見守りながら歩行運動や体操などを取り入れ体力維持できるよう支援します。

給食

本年度、給食の委託事業も二年目をむかえ、利用者さんの個々の特性や食事状況なども調理するスタッフの皆さんに理解していただいております。年々高齢化と重度化が進むなか、外注での食事の提供はほぼ難しい状況です。そういった利用者の皆さんに、行事の際のお弁当や季節を感じられる食事の提供を心がけ、安心安全な食で楽しみをもって食事ができる様配慮していきたいと考えております。

●行　事　計　画●

4月	花見
5月	遠足
	障がい者体育大会
	面会日
6月	グループ旅行（日帰り班①）
	小島保育園との交流会
	所内研修
7月	グループ旅行（一泊班①）
	面会日
9月	みはま福祉祭り in はまなす
	グループ旅行（日帰り班②）
10月	芋煮会
	九品寺幼稚園との交流会
	グループ旅行（一泊班②）
12月	クリスマス・忘年会
2月	所内研修
3月	保護者との一泊研修会

教室発表会

はまぎく荘ではボランティアさんの協力をいただいて様々な教室活動を行っています。三月七日に数ある教室の中から五つの教室が集まり、教室発表会を行いました。各教室に分かれ活動し、それぞれ楽しい時間を過ごしました。お昼は自治会を代表し二名の利用者さんと職員数名がボランティアさんと一緒に食事をとりました。美味しい食事を食べながら談笑し、交流を深めることができたのではないかと思います。ボランティアの皆様、いつもありがとうございます。そしてこれからもよろしくお願いします。

ハンドベル

教室発表会でも活躍しましたハンドベル教室のメンバーは、三月三十一日に渡邉幸子ピアノ教室の発表会のオープニングとしてトーンチャイムの演奏を行いました。練習の成果を十分に発揮しました。（渡邉先生はハンドベル教室のボランティアです。）

遠足

五月十日に遠足が行われフラワーセンターへ外出しました。到着と同時に元気に駆け出す姿が見られ、とても楽しみにしていた様子がうかがえます。利用者や職員と一緒に手をつなぎ、おやつを食べながら、楽しく園内を散策。あいにく、天候はよくありませんでしたが、特製お弁当を食べ、とても充実した一日を過ごすことができました。

花見

年に一度の花見、やはり主役は桜であり、できれば花は多ければ多いほど良いのですが…昨今流行の異常気象の影響で、あれよあれよという間に花弁は残り少なくなってしまいました。それでも、健脚の方は近所の花々を探しに行き、他の方はわずかに残った桜を楽しむことができました。季節感にあふれた昼食のお弁当を楽しむ皆さんの表情は、笑顔があふれていました。

体育大会

五月二十日、梅雨も近づき天候も心配されましたが、田村市陸上競技場にて、県障がい者体育大会に参加して参りました。参加競技は四月から一生懸命練習したフライングディスクです。普段とは違う緊張感の中、結果はそれぞれとなりましたが、本番直前まで練習を重ねていた立野さんが十投中七投成功し、見事グループ一位！　晴天の中、光輝く金メダルを手にすることができました。入賞できなかった皆さんも頑張りました。帰所後、立野さんに「おめでとう！」「すごい！」と迎え入れていた皆さんにも、「応援の金メダル」を送りたいと思います。

新職員紹介

今年度になり、異動や新職員として多くの方々を迎え入れました。長い付き合いの職員共々、今後もよろしくお願い致します。

支援員
大竹　友恵

いわきの大学を卒業後、地元会津の特別養護老人ホームで働いておりました。ご縁ありまして一月より、はまぎく荘にて働かせて頂いております。どうぞよろしくお願い致します。

支援員
岡本　崇

四月より支援員としてお世話になっております、岡本崇と申します。

不慣れな点は多々ありますが、利用者さんの心に寄り添う支援を目指していきたいと思います。宜しくお願い致します。

支援員
三瓶　千里

四月より、新採用となりました三瓶千里です。障がい者施設で実習を経験し、利用者の方から学ぶことが多く、魅力を感じました。福祉の分野においては未熟な点が多いですが、利用者の方が笑顔で健康に生活できるよう支援していきたいと思います。

支援員
佐藤　茉夏

四月よりはまぎく荘に配属されました、佐藤茉夏です。三月までいわき短期大学で幼児教育を学んでいました。右も左もわからない状態ではありますが、利用者の方々の笑顔に助けられながら楽しく過ごしています。日々成長していきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

支援員補助パート
小野美津枝

昨年十二月より働いています。支援員補助パートの小野美津枝です。仕事に慣れ、利用者さんと仲良く過ごせるようになりました。今後も皆さんのご指導のもと頑張りたいと思います。

異動職員紹介

主任支援員
野木　節子

こんにちは。エデンの家より異動してきました野木節子です。五年前まで「はまぎく荘」で働かせていただき、今年度戻ってまいりました。利用者さんの笑顔の変わらなさにびっくりしています。私も利用者さんに負けない笑顔で支援させて頂きますのでよろしくお願い致します。

支援員
鈴木　修司

今年度より、障害者就業生活支援センターより異動してきました、鈴木修司です。気が優しい私ですが、はまぎく荘では利用者に接する際に優しさだけでは成り立たないと考えています。自分を施設に合わせ、支援員として頑張りたいと思います。

防犯対策強化事業費　補助金

社会福祉施設等施設整備費の国庫補助と市補助を受けまして、フェンス取り付け工事、非常通報システム工事を行いました。

保護者研修会

去る三月三日～四日、いわき新舞子ハイツを会場に、平成二十九年度保護者・職員研修会が行われました。今年は、保護者二十二名が参加、はまなす荘と合同で、いわき市権利擁護・成年後見センターの白土典子氏を講師に招き、成年後見制度について学びました。その後は例年通り、保護者との面談の時を持ち、家族の希望を確認しながら、利用者のより良い今後の支援について話し合いました。

みはま福祉祭り in はまなす

九月一日（土）にみはま福祉祭りinはまなすが開催されます。「はまぎく」をご覧の皆様にも、ぜひ足をお運び頂ければと思っております。

くまハウス新聞

現在はまぎく荘では、「くまハウス新聞」も作成しています。行事や日中活動などを取り上げ、施設内に掲示しています。みなさま、お越しの際には、ぜひご覧ください。

異動・退職者

■異動職員（H30・4～）
志賀　道子　所長　はまなす荘へ
東田美恵子　支援員　カナン村へ
小川　純諸　支援員　法人本部へ
中村真由美　支援員　野の花ホームへ

■退職者
蛭田　美幸さん（12月）
石井　文雄さん
阿部とよ子さん
お疲れ様でした。

編集後記

「個性」それは一人ひとり違うから良いものである。私たちの職において、相手を知ること、つまりその人にしかない「個性」を知ることが大切だと思います。絵が上手であったり、歌が得意であったり、知ることで支援の幅が広がるきっかけになることでしょう。

お互いがそれぞれの個性を生かし、楽しいと思える支援を追求できるよう日々精進していきたいです。

「はまぎく」一一〇号ご高覧ください。

（津）